

勝林寺

長い看病のなかで

「結婚以来三十五年間、一年も看病と
いうことから離れたことはありません
でした」と話されるあるご婦人から、
その体験のなかから語りだされた貴いは
なしを最近聞くことができました。

「わたしは、ながい看病のなかから、
三つのことを、知らせていただきました」
とおっしゃいます。

三つのことの第一は、人のいのち
の頼りなさと浅ましさということです。

今日は見る影も無く落ち込んでしまう。
年とった病人ほど、ひとときの目放し
もゆるされない。

きのう元気ない顔をみせていたのに、
それが人間だって。
それだけじゃない。

人様にはいえないけれど、人間という
ものは、本当は、毎日毎日、地獄や餓鬼
や犬猫のようないのちを生きてるものだ
と言うことを、わたしは看病のなかで、
またあたり見てしまったということです。

次に三つの発見の内の第二番目が、一
番大事なことなのですが、実はこれがわ
かるまでには並大抵ではありませんでし
た。

こう言つても、今だって、しん底
わかっているのかといわれたら返事のしょ
うもありません。

まあ、とにかく人のことではなくて、
危ない危ない明日とも知れぬ命を平氣な

顔して生きているのは私自身ではないか。
病人老人が地獄や餓鬼のは、病氣のた
めだけれど、病氣でも年寄りでもない私
が、もっとひどい地獄や餓鬼をこころに
燃えたたせながら生きているではないか。

ここで言うことさえはばかられます、
とにかくそんなわたしが看病のなかで、
だんだん知らされてきたということです。

三つのうち最後三番目に知らされたこ
とは、ひょっとしたら投げやり開きなお
りのよう聞こえるかも知れませんが、
「このままいいんだワ」という気持ち
です。

お互い地獄なら地獄どうしやってきま
しょうね。というような気持ちです。
餓鬼の苦しみを、共に同じ田線で共に
呻くことしかないとんだワ。

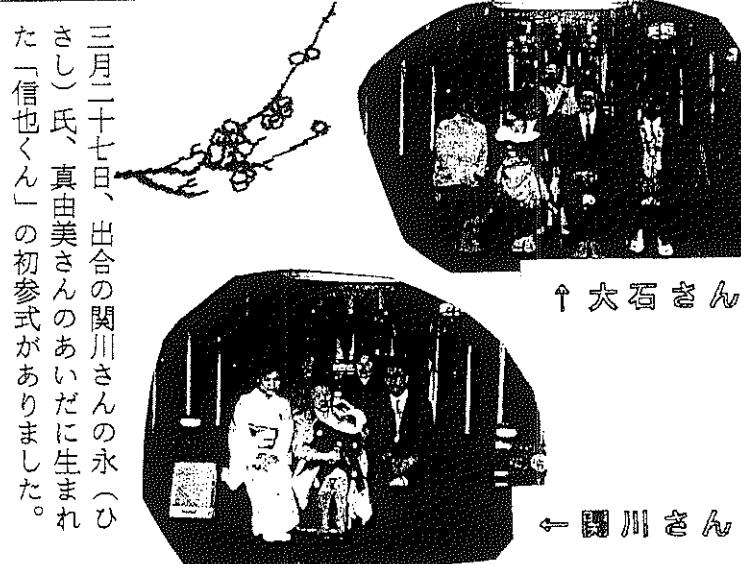
話のおわりにこの奥さんがおっしゃいま
ました。

私は今でもいい看護人だったなんて微
塵も思つております。

どんなにしてもいい看護人なんかにな
れないものというのをしらせてもらつ
たことを、わたしはむしろ貴いご縁だつ
たと、いまでは誇らしく覚えています。

いい看護人になれなかつたおかげで、
私は今でも不思議に亡くなつた人とも話
ができるんです。

これ自分で分からぬのですけど。



↑ 大石さん

← 関川さん

五月のこよみ

一日	坪木信義氏宅法事
二日	山田ちえ氏宅法事
三日	森友強氏宅法事
四日	数森幸枝氏宅法事
五日	田中保夫氏宅法事
六日	湯口勇雄氏宅法事
七日	西山真澄氏宅法事
八日	斎藤幸恵氏宅法事
九日	藤山和子氏宅法事
十日	宮嶋文夫氏宅法事
十一日	岩出匡仙氏宅法事
十二日	西井均氏宅法事
十三日	山田隆久氏宅法事
十四日	斎藤庄治氏宅法事
十五日	永井均氏宅法事
十六日	玉田余定例法座
十七日	『連研』(勝林寺)
十八日	『連研』(勝林寺)
十九日	山田隆久氏宅法事
二十日	西方寺様法事
廿一日	斎藤庄治氏宅法事
廿二日	永井均氏宅法事
廿三日	山田隆久氏宅法事
廿四日	斎藤庄治氏宅法事
廿五日	西井均氏宅法事
廿六日	藤本健一氏宅法事
廿七日	宗祖降誕会
廿八日	合同役員会
廿九日	教師修礼
三十日	みのりを開く会(8時)
三十一日	全国組長研修会



掲示板

私はこの歳になりましたが、年中うろうろ、あちこちの町を歩いて商売させていただいております。商売で歩きまわっているのであります。が、商売てえのは、してもせんでもええよくなもんで、いうたら私自身の健康法といったほうが当たっているのでしょうか。

そのからだの健康法と、それからこれこそ、捨い物のようなのですが、町のあちこちのお寺さんなどの掲示板に書いてあることばに、ウーンとうなづいたり、サテモサテモと感激したり。これもいわば私のこここの健康法と言つていいとおもつります。

「子は、育てたように育つ」
(成程成程、あんな子に育てたつもりではなかつたのにと嘆く。「子供は、育てたようにしか育たなかつた」。その通り。今になって思い当たります。)

「百獸の王はライオンではない、キリン。ライオンは確かに強いが、ひとが逃げ出して寄り付かない。キリンは首が長く高く広く見渡せるので、それをたよりにひとが集まつてくる」
(阿弥陀さんはキリンさん。生きてる世界はもちろん死んだ先のあの世まで広く見渡して導いてくださる)

次は新聞記事
「死後は医の材になる身の花見かな」
(献体を約束なさいて、死ねば医学の実験材料になる。その時期も近づい

お慈悲いただき

生きる欲

兵庫教区門徒推進員連絡協議会

入学祝いのことはば

一筆御礼申し上げます。

ここらなごむ花の季節となつて参りました。

こよなくお花のお好きだつた亡き坊守さまが偲ばれ、ひとしお惜別のおもいが込み上げて参ります。

さて、毎日のこと沙織の一年生入学に際しまして、お祝いの品々をお届けいただきます。誠にもつて厚く御礼申し上げます。

おおよろこびで、朱のお数珠をかけて仏様にお札を申しました。

読本の『はと』を一字一字たどりながら私はなまつり、読み終えて「おしゃか様はお花がすきだつて」と教えてくれました。

七日入学式に出発の前に、お仏壇の前で、私と二人で、「いい子になります。どうぞほとけさまの子供にしてください」と手をあわせました。

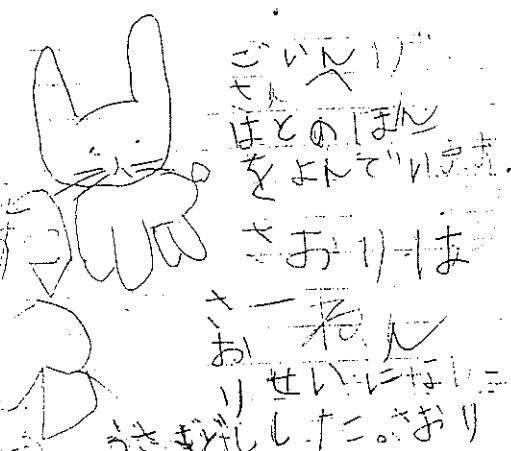
夏の「こども研修会」にぜひ出席させていただき、感謝の日々が送れるこどもに育つよう念じております。

本当にありがとうございました。沙織もたどたどしい字で懸命にはがきを書きました。読んでやつしてください。

(お花見をもう一つ
「今生の納めの桜 観る人も あるべし
おのれと誰か思わん」
(そこ)に迫つて死をさえも、わがことと思わず、人事のように思い過ぎして、花見などにうつつをぬかしている私が、つよく問われました)

「月見 花見をしているうちに 大事なことを忘れている」

ときは春の宵、京のまち角の小さな寺の掲示板でした。



「連研参加申し込み」					
寺を通じて至急お申し込みください。					定員充足と同時に締め切りります。
申込料金					一筆御礼申し上げます。
第一回	五月八日(日)	第二回	七月十七日(日)	第三回	十月二日(日)(各回とも午前八時半から午後四時までです)
年度)の日程					
①	浄土真宗に関係関心のある人で連続して参加して下さい。	②	なるべく六〇歳までの人が望ましい。	③	連続研修ですから必ず同一人物が継続して参加して下さい。
④	収容能力の関係から原則として一ヶ寺四名程度の研修員。	⑤	研修運営のうえから一ヶ寺四人は男二・女二人が望ましい。	⑥	所属寺を通じ四月末日までに次の事を文書で連研事務所まで申し込んで下さい。
番号)	電話番号	三、経費・運営	① 聖典・テキストなど教材費と運営費を第一回のときに納入いただきます。(三〇〇〇円未満)	② お弁当代はその都度寺毎に集金します。(大体八〇〇円)	③ 法輪会員(連研修了者)のかたがたが運営して下さい。